

福島２ 水管橋・橋梁添架管の点検

求める技術：⑦

1 課題を抱える業務の内容

直接目視による点検が困難な水管橋・橋梁添架管は、足場の設置や橋梁点検車等の特殊車両を用いた点検が主流ですが、所要日数や費用を要します。

2 課題の詳細

水管橋・橋梁添架管は外的要因（気温変化、風、振動など）によるストレスを受けていますが、ドローンを活用したプログラムによる定点撮影と画像の組み合わせによる解析を行うことで、点検や健全性の確認にかかる所要日数や費用の大幅な縮減が見込まれます。

また、主要な水管橋等にセンサーを設置することで、管路の異常（漏水の前兆又は初期の状態）を把握・解析することで予知保全に繋がれると考えております。

3 こんな技術を求めています！

- 撮影された画像を解析する技術（定点撮影画像の差異による解析）
- 画像解析から劣化予測診断が可能な技術
- 管路の（漏水の前兆）を把握し、更には解析による劣化予測診断が可能な技術

4 技術の導入により代替が期待される業務

- 日常点検の省力化、効率化
- 点検品質の向上、均一化（定量的な劣化状況把握）
- 事故の未然防止、作業員の安全性向上